

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

| | | | | | |
|------------|---|---------------|----------|---|--|
| 氏名 | (法人にあっては名称) 美作市 | | 住所 | (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 707-8501 岡山県美作市栄町38-2 | |
| 本票作成 | 部署名：市民部くらし安全課 | | | | |
| 主たる業種 | 分類コード | 98 | 業種名：地方公務 | | |
| 事業の概要 | 地方公共団体として、全ての住民が安心して暮らせる環境づくりや地域が活性化する事業等を行っている | | | | |
| 県内の主な工場等 | 番号 | 工場等の名称 | | 所在地 | |
| | ① | 美作市南部環境美化センター | | 美作市三倉田93 | |
| | ② | 大原病院 | | 美作市古町1771-9 | |
| | ③ | 美作浄化センター | | 美作市湯郷932 | |
| | ④ | クアガーデン武蔵の里 | | 美作市宮本82-1 | |
| | ⑤ | 大芦高原温泉雲海 | | 美作市上山1735 | |
| | ⑥ | 作東バレンタインホテル | | 美作市江見993 | |
| 特定事業者の該当要件 | <input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 211 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台) | | | | |

| | | | |
|-----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 温室効果ガス排出量 | 基準年度(平成 25 年度) | (平成 26)年度排出量 | 目標年度(平成 28 年度) |
| | 20,923 t CO ₂ | 20,489 t CO ₂ | 20,295 t CO ₂ |

| | | | |
|-----------|----|---------------|-------------------------|
| 主な工場等の排出量 | 番号 | 工場等の名称 | (平成 26)年度排出量 |
| | ① | 美作市南部環境美化センター | 2,757 t CO ₂ |
| | ② | 大原病院 | 1,086 t CO ₂ |
| | ③ | 美作浄化センター | 881 t CO ₂ |
| | ④ | クアガーデン武蔵の里 | 792 t CO ₂ |
| | ⑤ | 大芦高原温泉雲海 | 725 t CO ₂ |
| | ⑥ | 作東バレンタインホテル | 660 t CO ₂ |

| | | | | |
|-----------|---|--------------|-------|--|
| 削減目標の達成状況 | 計画期間： 平成 26 年度 ～ 平成 28 年度 (3 箇年度) | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準 | (26)年度削減実績 | 目標削減率 | 目標達成 |
| | <input type="checkbox"/> 原単位基準 | 2.1 % | 3.0 % | <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達 |

| | | | | |
|--------------------------|-------------------------|---|---|---|
| (原単位基準の削減目標を選択している場合に記入) | 温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 | 原単位当たり排出量 | | |
| | | 基準年度 | (26)年度 | 目標年度 |
| | | CO ₂ /() | CO ₂ /() | CO ₂ /() |

(該当事業者のみ記入)

| | | | | |
|-------------|---------|----------|----------------|------|
| ベンチマーク指標の状況 | 対象事業の名称 | ベンチマーク指標 | 関連数値(平成 26 年度) | 達成率等 |
| | | | | |

【削減状況の自己評価】

基準年度と比較して2.1%減となっている。全体の約16%を占める観光施設については、利用率の低下が要因と考えられる燃料及び電気使用量の減少が見られる。
 一般廃棄物処理施設については、資源化施設の増設等や機械設備の動力源の違いにより、電気使用量が増加している。
 電力使用量は全体の約8割程度となっており、更なる施策検討が必要である。LED照明は順次更新を行っているが、既存施設の省エネ設備の導入については、多大な経費が必要となり困難である。
 今後も職員の日頃の行動に対するエコアクションの普及啓発を一層推進したい。

【推進体制】

温室効果ガス排出量の削減に向けて、市長を筆頭に各管理職を構成員とする推進本部を設置している。事務局をくらし安全課とし、各課及び各出先機関へ1名以上の推進担当者を置き、計画の推進及び推進状況を把握しつつ、計画の総合的な推進を図っていく。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

| 工場等の名称 | 実施した措置及び今後の取組の内容 |
|--------|--|
| 全庁舎 | <p>(平成26年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの消灯、トイレなど利用者がいない個所の消灯。 ・公用車の一括管理、使用報告等による無駄な乗車等の削減。 ・クールビズ、ウォームビズの推進。 ・ノーマイカーデーの実施。 ・事務用品は、詰め替えやリサイクル可能な消耗品を購入する。 ・物品の再利用や修理による長期利用に努めるとともに、廃棄物の分別の徹底に努め、ごみの減量化を図る。 ・公共施設に薪ストーブを導入し、化石燃料の削減を行った。 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の新築・改築をする際には、環境負荷の低減に配慮した施設等を整備し、適正な管理に努める。 ・高効率照明への買い替えを順次行う。 ・電気製品等の物品の新規購入、リースレンタルを行う場合、省エネルギータイプで環境負荷の少ないものの購入等に努める。 ・公用車は、燃費の良い車種や、環境負荷の少ない低公害車を優先的に採用するとともに運転者はエコドライブに努める。 ・職員に対し環境保全研修会を開き、必要な情報提供を行い、環境についての意識啓発を図る。 |

【森林保全等吸収源対策への取組】

| | | |
|--------|---|--|
| 県内での取組 | 有 | 企業との協働森づくり事業：美作市が所有する森林を森林保全活動に取り組もうとする企業に提供し、森林の育成活動に努める事業。現在、3社の企業と協定を結び、美作市上山にある市有林を提供し、森林保全活動に取り組んでいる。 |
| その他 | 無 | |

【再生可能エネルギーの導入】

| | | |
|--------|---|---|
| 県内での取組 | 有 | 再生可能エネルギー等導入推進基金事業を利用し、みまさかアリーナ、勝田総合支所に太陽光発電を導入し、東栗倉、大原、勝田総合支所内に薪ストーブを設置し、自立災害拠点としての能力向上及び再生可能エネルギーを導入することにより、温室効果ガスの低減を目指している。 |
| その他 | 無 | |

【その他特記事項】

| |
|--|
| |
|--|